

製品名: KLHL13 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM80860**

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|--|
| 説明 | マウスモノクローナル抗体 |
| 宿主 | ねずみ |
| 応用 | WB,IHC,ICC,ELISA,FC |
| 反応性 | 人間 |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | 未修正 |
| アイソタイプ | Mouse IgG1 |
| クローン性 | モノクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | 1mg/ml |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | 0.03%アジ化ナトリウムを含む PBS。 |
| 精製 | アフィニティー精製 |

応用

| | |
|------|---|
| 希釈倍率 | WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,ICC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400 |
| 分子量 | 74kDa |

抗原情報

| | |
|--------------|------------------------------------|
| 遺伝子名 | KLHL13 |
| 別名 | BKLHD2; FLJ10262; MGC74791; KLHL13 |
| 遺伝子 ID | 90293.0 |
| SwissProt ID | Q9P2N7 |
| 免疫原 | 大腸菌で発現したヒト KLHL13 の精製された組み換え断片。 |

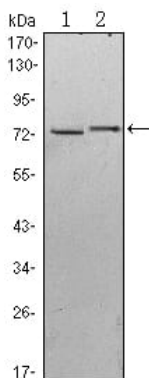
背景

KLHL13 (kelch-like 13) は、BKLHD2 (BTB および kelch ドメイン含有タンパク質 2) としても知られ、604 アミノ酸からなるタンパク質で、6つの Kelch リピートと1つの BTB/POZ ドメインを含みます。主に脳で発現する KLHL13 は、タンパク質のコビキチン化

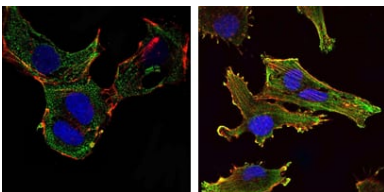
に関与すると考えられており、E3 ユビキチン-タンパク質リガーゼ複合体の基質特異的アダプターとして機能する可能性があります。E3 リガーゼは、E2 ユビキチン結合酵素からユビキチン残基を受け取り、その残基を分解対象となるタンパク質に直ちに転移します。具体的には、KLHL13 は、ユビキチンを介したタンパク質分解におけるタンパク質の選択的標的化に関与する Cullin ファミリーメディエーターのメンバーである KLHL9 および CUL-3 と相互作用します。KLHL13 は、BTB と C 末端 Kelch (BACK) モチーフを介して、CUL-3 リガーゼ内の基質を空間的に配向する役割を果たすと考えられています。

研究分野

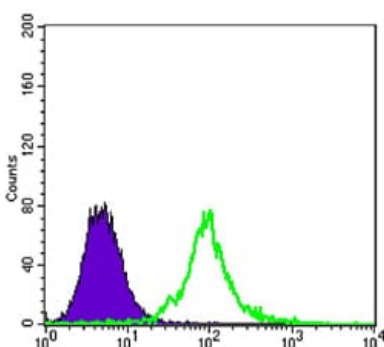
画像データ



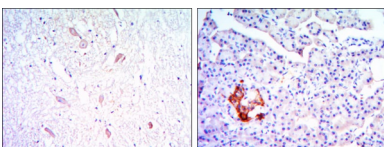
Hela (1) および MCF-7 (2) 細胞溶解物に対する KLHL13 マウス mAb を使用したウェスタンブロット分析。



KLHL13 マウス mAb (緑) を用いた NTERA-2 細胞 (左) および U251 細胞 (右) の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。



KLHL13 マウス mAb (緑) とネガティブコントロール (紫) を使用した 3T3/L1 細胞のフローサイトメトリー分析。



KLHL13 マウス mAb と DAB 染色を使用した、パラフィン包埋ヒト脳組織 (左) と脾臓組織 (右) の免疫組織化学分析。